

期末考査が終わり、冬休みも間近となりました。SGHも2年生は課題研究の代表班が決まり、今年度の総決算へと向かっています。また、この時期は自分自身の1年を振り返る良いタイミングです。来年早々、SGH アンケートも行いますので、みなさんもこの年末に身の回りの掃除をしながら、ぜひ今年1年を振り返ってみてください。

1年 SG 講座 professional

講演「大塚の海外における CSR 活動について」



平成28年11月10日(木)、第1学年を対象とし、大塚ホールディングス株式会社総務部課長 梅津 芽生 先生の講演会を開催しました。

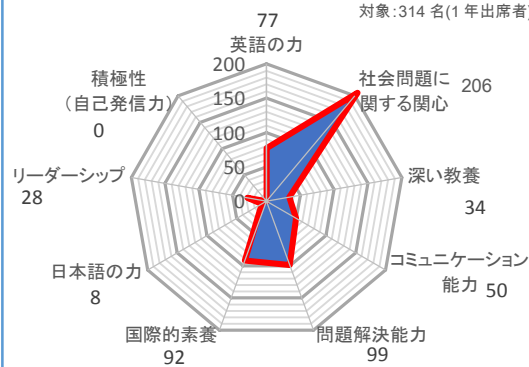
1学期にも大塚製薬の浜本先生のお話を聞きましたが、今回は特に「CSR 活動」にフィーチャーし、また違ったお話を聞くことができました。

大塚グループは徳島だけでなく、事業を展開している地域への恩返しとして海外でも CSR 活動(子供への寺子屋活動、診療所の運営など)を行っているそうです。活動を行う上で、それぞれの地域の文化を重んじることや現地の意見を聞くことなどが成功につながっているという点は他のことにも通じるものがあり、大変勉強になりました。また、今回のお話を通じて、社会的責任(SR)は企業だけでなく、他の組織、そして私たち一人一人にもあるという視点に気づくことができました。

今後、HP などで大塚グループだけでなく9月に企業訪問した他の企業の CSR について調べてみるのも、おもしろいかもしれません。

今回の講座を終えて、あなたが特に必要だと感じたものを2つ選んでください。(回答数)

対象:314名(1年出席者)



1・2年 グローバルリーダー育成メソッドⅡ home

EUがあなたの学校にやってくる



平成28年11月14日(月)、「EU があなたの学校にやってくる」の出張授業で、駐日ポーランド共和国大使館からウルシュラ・オスミツカ 一等書記官が来校され、1・2年生の全員を対象に講演会を行いました。「EU があなたの学校にやってくる」は、EU 加盟国の大使や外交官が学校で EU や出身国のことについてお話するというプロジェクトです。

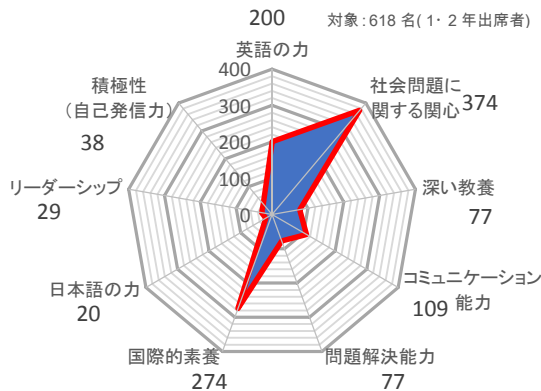
講演では、ポーランドの紹介、EU の成り立ちや EU と日本のパートナーシップなど、多岐にわたる内容をクイズなども織り交ぜながら楽しくお話いただきました。

また、その後希望者生徒25名と行われた座談会も、とても盛り上がりました！特に、難民問題、イギリスの EU 脱退やアメリカ大統領選の影響など最近のニュースに関連する質問が出ました。

普段のニュースで気になっていることを外交官の方に直接聞けることも滅多にないチャンスなので、生徒たちも高揚した様子でした。これをきっかけに今後も海外の時事問題に関心を持ってもらえればと思います。

今回の講座を終えて、あなたが特に必要だと感じたものを2つ選んでください。(回答数)

対象:618名(1・2年出席者)



1年

SG 講座 academic

徳島大学医学部体験実習を行いました

11月12日(土)、第2学年の10名が徳島大学を訪問し、医学部体験実習をしました。

医学部の先生や城東高校卒の先輩のお話を聞いたり、海外の留学生の方に教えていただきながらの医学実習体験、スキルズ・ラボでの臨床体験など、高校生では普通はできないような経験をさせていただきました。また、実験のやり方や医学部の雰囲気だけではなく、医学に携わる方の志や覚悟についても学ぶことができました。

この経験は、医療関係の仕事を目指す生徒に、進路を考える上でも大きな影響を与えています。



2年

課題研究/SG 講座 academic

課題研究の代表班が決定 & 徳島大学の先生方にご指導いただきました

2年生の課題研究は代表班が決定し、12月12日(月)に、徳島大学の先生方に第2回目の指導をしていただきました。どの班もユニークなテーマがそろいました。

また、惜しくも代表班にならなかった班も研究をまとめ、研究紀要『叡智の扉』の論文執筆作業を行っています。

代表班が決まりました！テーマ(仮題)はこちら↓

1. 「振動力発電は世界を揺るがす?!」
2. 「IoT技術で糖尿病を予防できるのか」
3. 「あなたの疲労は回復できてる?」
4. 「内服薬は今よりも飲みやすくなるか」
5. 「徳島の魅力をPRする」
6. 「ちょっと待った! 英語教育~小学校に英語は必要なの?~」
7. 「AIが先生になる! ?」
8. 「外国人労働者は日本に良い影響を及ぼしているのか?」
9. 「世界に羽ばたけCHILDREN」
10. 「発展途上でショーエンタテインメントは発達するのか」

1年人文

グローバルリーダー育成メソッド I in school

図書室の奈木先生に 青年海外協力隊の体験談を聞きました

11月30日(水)に、第1学年人文社会コースの「21世紀を生きる」の授業の中で、本校の図書室の司書の奈木利恵先生が青年海外協力隊の体験談をお話してくださいました。

先生は、青年海外協力隊(JICA が行う海外ボランティア派遣制度)の一員として、ドミニカ共和国で司書をしていたことがあったそうです。

人文社会以外のクラスでも、海外での暮らしや司書のお仕事、海外ボランティアに興味のある人は是非図書館に足を運んで先生にお話を聞いてみてください♪



コラム<世界のクリスマス>

★オーストラリア オーストラリアは南半球なので、クリスマスの時期は真夏です。屋外の気温が 30℃でも、ショーウィンドウには、雪やトナカイなどのディスプレイであふれかえります。クリスマスのご馳走は夜ではなく、ランチにパーベキューをする家庭が多いです。(参考:オーストラリア政府観光局HP)

★トルコ イスラム教徒が大半のトルコでも、あくまで宗教的行事としてではなく年越しのお祝いとしてクリスマスらしい飾り付けやイルミネーションを楽しんだりする所もあるようです。(参考:地球の歩き方HP)

★ドイツ ドイツでは聖ニコラウスの日(12/6)に白いひげのニコラウス(サンタに似ているが別の人)が現れ、悪い子にはおしおき、よい子にはプレゼントをあげます。それに加えて、クリスマスのプレゼントもあるので、ドイツの子どもは合計2回贈り物をもたらえるのだそうです。(よい子ならですが ^^;)

(参考:ドイツ連邦共和国大使館・総領事館HP)

みなさんもそれぞれのスタイルで
良いクリスマス&年越しを★

